



# おおさか



佐藤会長

## 2023年の主な活動を終え、次に向かって踏み出す

会長 佐藤啓一

年初に掲げた主な活動計画、North Bay club 受入れ、Belgian Coast club 渡航、中部ブロック会議主催、FF 大阪クラブ創立40周年記念行事を全て実施する事が出来ました。2016年以来の主催となる中部ブロック会議、周年行事としては初めてと言える創立40周年記念行事だけでなく、受入れや渡航も従来経験したことがないような状況(例えば、受入れ相手が結果的に4クラブの混成、円安で渡航費用が増加等)で、何れも企画、準備がすんなり運んだ訳ではありませんでした。しかし、企画、準備を担当して貰ったみなさんの尽力、参加、協力して頂いた皆様のお陰で、コロナ禍で停滞していた活動を再開し、節目の年に相応しい活動が出来たと感じています。他方、FFIの運営、外部環境や状況だけでなく、担い手も変化していますが、従来通りのやり方で良いのか問いかけられていると思います。節目の年はそれらに対応したやり方を模索していく契機でもあり、皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思います。

## 大阪クラブは創立40周年を迎えました

1983年、FF大阪の前身である「フレンドシップフォース関西交換委員会」が近畿コカ・コーラボリングの支援のもとに設立され、同年8月にアメリカ、ワシントン州スポケーンへの最初の渡航が実施されました。最初の受け入れは1985年のアメリカ、ノースキャロライナ州ローリー。1995年同社の支援を離れ、「フレンドシップフォース大阪クラブ」と改称して独自の活動をスタート。今日まで渡航37回、受け入れ37回を数えています。



# 創立 40 周年記念パーティー



池田顧問の発声で乾杯



FFI 金元氏

FRC 大西氏

大阪クラブの創立40周年を記念して、12月3日(日)、40周年記念パーティーが大阪天満橋のキャッスルホテルで開かれ、ご来賓として FFI の金元勅子氏、奈良クラブの大西弘氏(FRC)、OB・OG の4名、会員から37名が出席する盛大な宴となりました。長谷部さんの司会のもと、佐薙会長、ご来賓お二人の挨拶に続き池田顧問の発声で乾杯し和やかな会食が始まりました。

「思い出ばなし」として、大下すみ子さん(OG、元会長)、宮城和子さん、朝倉隆夫さん(元会長)、飛岡文夫さんから、今となっては懐かしい出来事やエピソード、また FF 活動への思いなどが語られ、さらに特別出演の木原利幸さん(OB)が作詞、作曲された歌が2曲披露されたあと、全員で「You Are My Sunshine」を合唱しました。



大下すみ子さん



宮城和子さん



朝倉隆夫さん



作詞・作曲の歌熱演 木原利幸さん

最後に記念誌編纂 WT の金山委員から、記念誌編纂のいきさつや苦勞が紹介され、今井副会長の挨拶と巽さんのエールで閉会となりました。

OB・OG はじめ懐かしい顔が久しぶりに集まり、盛り上がった会話はいつまでも尽きませんでした。



ベルギー渡航メンバーのリードで合唱



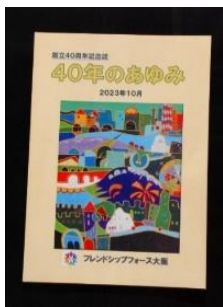
ギター演奏は池田さん



和やかなパーティー風景

### 40周年記念誌の発行

FF 大阪の 40 周年記念誌が発行され、12 月 3 日の記念パーティーで参加者に配布されました。大阪クラブとしては周年記念誌の発行は初めてで、昨年 7 月に記念誌編纂ワーキングチームを立ち上げ、散逸しそうな過去の写真やデータを集め一年余り費やして完成しました。表題は「40 年のあゆみ」、A4 判 47 ページで写真をふんだんに使い、表紙は、会員の飛岡文夫氏の油彩「旅の思い出」で飾ることができました。



## ベルジアンコーストへの渡航

AC 今井 綾

3年ぶりに大阪クラブの渡航がおこなわれました。

10月8日から15日まで7人のアンバサダーがベルジアンコーストクラブのホスト宅でステイしました。

HCのJulieさんと10か月間に渡ってメールのやり取りを行っていたので、お会いした時は旧知の友人に会ったような親しみを感じました。それに加えて彼女は日本語を勉強しておられるだけでなく、もっと深く日本の文化や精神についてまで関心をもたれているのでとても感銘を受けました。



Palmyreさん宅の庭でFarewell Party

く存分に親睦を図ることができました。会員持ち寄りの料理、またシェフによるケータリングサービスと心のこもったおもてなしを受けました。

滞在中1日のフリーディ以外は、毎日列車に乗ってブリュッセル、アントワープ、ブルーージュと名だたる観光地を巡りました。会員でツアーガイドをされている方が詳しい案内をしてくださりました。



HCのJulienneさんと

それぞれクラブによって受け入れ方は違いますが、基本ホストと過ごすのは朝食と夕食の時、それ以外のドイツツアーにおいては2名程度の会員の方が付きそりやり方で、役割分担がはっきりしていて効率的でホストの方の負担も軽減できているように感じました。



会長 Gaya が夕食に招待 (いなり寿司をふるまう)

団体の海外旅行と FF の渡航が違うように、アンバサダーとしての参加と AC としての参加も違うことが AC をやって初めて気が付きました。

準備や滞在中、大変なこともあります、それ以上のことが学べて一層楽しかったです。

No risk, no reward 少し自信がなかつたり、やりたくないことでも一歩踏み出してやってみるとたくさんの学びを得ることができました。

これがわたしの AC を務めた感想です。これもサブ AC の池田さんをはじめアンバサダーの皆さん協力そして後方支援をしてくださった事務局の金山さんのお陰と感謝しております。



オステンドの美しい海岸

## ホームステイ日誌

山田 多津美

10月8日

アンデヌヌ地方で古城巡りの後、専用車で午後6時ベルジャンコーストクラブホスト宅に到着。ホストのおうちでのウェルカムパーティーでは HC と SHC が丁寧な日本語で歓迎の挨拶をしていただき感動しました。AC 今井さんの流暢な英語のスピーチも素晴らしかったです。会員の方たちの手作りの料理やデザートをいただきながら、初めてお会いした人たちなのに、おしゃべりが弾んで楽しいひとときを過ごしました。



ホスト、マリーポーのお宅でウェルカムパーティー

10月9日

オステンドから鉄道でブリュッセルを訪れました。EU 施設について詳しく説明を受けた後、徒歩で一駅グランプラスの広場に一歩足を踏み入れると歴史的な建築物に圧倒されます。大学の卒業式がグランプラスで行われ、学生とその家族で広場は混雑。小便小僧も卒業を祝っていました。



卒業式の衣装を着た小便小僧



ブリュッセル市庁舎前で

## 10月10日

ホストのガイドでゲントの街を訪れました。教会はまるで美術館、膨大な数の傑作が収蔵されています。午後のレイエ川クルーズのボートの上で空手の練習に沖縄に行くと言う男性2人組と言葉を交わします。



ホストのアルレッタは、プロのガイド



メンバーのカラフルで素敵なうち

夜は、会員宅でグループディナー、ハロウィン料理でもてなしていただき、日本人作家の「レンタルパーソン」が話題になっていると聞いて驚きました。

## 10月11日

海沿いを走るトラムに乗りブランケンバーグを訪れました。S HC ご夫婦が、アールヌーヴォー、建築が保存されている住宅街を丁寧にガイドしてくださいました。フランケンバーグは美しいビーチが広がり、カジノなどの施設があるリゾート地です。アールヌーヴォーの小さな博物館を見学後、カフェのテラスでティータイムを取りくつろぎました。



アールヌーヴォーの住宅

## 10月12日

今日はフリーデー。オランダのスロイスまでドライブしたり、近所の海岸を散歩したり、マーケットに足を運んだりアンバサダーとホストがそれぞれの1日を楽しみました。夜はお蕎麦やラーメン、お好み焼き、お味噌汁、ちらし寿司など思い思いの日本料理を感謝の心を込めて料理しました。



フリースの風車の前



オステンドのハーブガーデン



運河とブルージュの美しい風景

## 10月13日

鉄道でブルージュを訪れました。水の都ブルージュには運河と美しい橋があり、中世の景観が素晴らしい。どの日のランチもおいしかったが、本日は魚介のクリームシチュー。1500種から選んだ好みのビールとともに舌鼓。午後からの自由時間に美しい建物が並ぶマルクト広場でもひととき目立っていた鐘楼の366段の石の螺旋階段を上ったのは、巽さん。上からのパノラマは最高だった事でしょう。

10月14日

午前中はフェリーに乗り、オステンドの魚市場やビーチを見学。午後からホスト宅でフェアウェルパーティーが開かれました。私たちが「故郷」を熱唱し、「ユアマイサンシャイン」を一緒に歌って盛り上がりました。

最後にベルジアンコーストのメンバーが披露してくれた「ザベルジアンソング」を聴きました、今回を最後にこのクラブが解散してしまうのが本当に残念に感じました。



フェアウェルパーティーで尺八を披露



HC ジュリーさん、AC 今井さんお世話になりました

### ホームステイ前後のベルギー観

巽 正憲

10月6・7日

アムステルダム、スキポール空港に到着後列車でベルギー第2の都市アントワープへ。

アントワープでは、ノートルダム教会ですばらしいステンドグラスを観て、ルーベンスの名画を鑑賞、フランダースの犬の話聞いた。その後、多くの古城のあるアルデンヌ地方へ。

ディナンのナミュール城に上がり、上から川沿いの美しい景色を眺めました。そしてすばらしい古城ホテルに宿泊。

翌日は、5つの尖塔を持つヴェーヴ城を見学し、楽しい古城巡りを満喫しました。ブリュッセル拡張の歴史を巡りながらアールヌーヴォーのアーケードを通り中心部へ。壮大なEU本部の設置はベルギーに新しい歴史を加え、ベルギーの底力を感じました。



ナミュール古城ホテルにて



サククス発祥の町ディナン



ヴェーヴ城

### ホームステイのあとアムステルダムへ

10月15日

帰りに5人はオランダのアムステルダム、風車村を見学した。水面下の国土が沈まないように、排水のために、多くの風車が活躍していたが、動力ポンプの普及とともに減少し、保存のため特定の場所に集められている。そのひとつを見学した。帆布を貼ったとても大きな風車は排水だけでなく、木材を切る鋸の動力にも利用されているようだ。



スカンス風車村にて

## 初めての渡航 ベルジアンコースト

菅原 誠子

「全く知らない人の家に1週間も滞在するなんて。迷惑かけるよね。悪いな」と初めは思っていました。

ベルジアンコーストに着き、会員さん宅でポトラック風ウェルカムパーティーがありました。持ち寄った料理で温かい歓迎をして頂きました。次の日からツアーが始まり、会員さんからガイドをしてもらい、ベルギーの文化や歴史に触れることができました。ホストファミリー宅では、朝・夕の食事を一緒にしながら会話をしたり、ツアーに行く前に洗濯物があるからと朝出すと、帰りはもう洗濯物が綺麗に畳まれていたり。もう家族以上の関係？になってしまいました。本当に、普通の旅行では得られない交流ができていくことに気が付きました。

最後のフェアウェルパーティーは、ホストファミリーが納屋を改築して造った素敵なゲストハウスで、シェフの美味しい料理をいただき、別れを惜しみながら皆さんと楽しい時間を過ごしました。



ホスト夫妻とレストランで



## ベルギーのホームステイに参加して

巽 正憲

ステイ先のジュリーさんは、日本語検定試験5級に合格されていて、日本語が話せるのでとても助かった。より日本語を覚えるため、冷蔵庫のドアに日本語のカードをたくさん貼っていた。

毎食、私の好きなブルーチーズや生ハムを出してくれて感激。逆に私の作ったお好み焼きや焼きそば、みそ汁を「おいしい」と平らげてくれた。

持参した百人一首とCD付解説本を大変喜んでくれ、送別会で披露した尺八と共に、少しは日本文化を伝えられたかなと思います。

とても楽しいホームステイでした。

## 2024年 EWN I (Eastern Washington Northern Idaho) クラブ受入れ



2024年4月にアメリカの SPOKANE 市から 11 名のアンバサダーが来日されます。2～8日、6泊7日の予定で大阪クラブと交流後、4月8日からオプションツアーで広島に1泊2日訪問されます。公式には8日のお見送りで交流は終了となりますが、アンバサダーは広島ツアーも一緒に交流を希望されています。広島に同行交流が出来そうだという方は是非ご検討ください。その後、4月9日から7日間、静岡クラブと交流

されます。皆さん日本の文化に関心を持っておられ、交流を楽しみにしています。大阪クラブ皆で協力しあい、アンバサダーの方々をおもてなししたいと思います。改めて交流プログラムについてはメール等でお知らせしますが是非皆様の参加、ご協力よろしくお願ひします。尚、同クラブは大阪クラブの最初の渡航先で40年の時を越えての再交流となります。また、Spokane 市は西宮市と姉妹都市で、ACの Beatrice さんは西宮市の中学校でALT(英語指導助手)として勤務した経験をお持ちです。

HC 西田 直美

SHC 佐藤 啓一

## 2023年FF 中部ブロック会議



集合写真

佐藤会長の挨拶に続き、FFIの金元勅子氏、FFJの大西弘氏（FRC、奈良クラブ）、鈴木靖子氏（FR、静岡クラブ）が挨拶、今井副会長、金山事務局が進行役となって全体会議に入り、山積するFFの諸課題について活発な意見を交わしました。

議題の一つ、「クラブ運営上の課題と取り組み」については、各クラブから深刻な高齢化の波と人材不足の悩みが相次ぎましたが、会員数は少ないが、全員が責任をもってやっております運営上の大きな支障はないとの意見もありました。

もう一つの議題、「クラブ制度の維持・発展」では、個人会員制度についての懸念の声も出たが、金元氏から「日本では、クラブに所属して活動することを勧めている」また大西FRCから「クラブ制度は個人会員制度と相容れないことではなく、共存共栄が可能」との説明がなされました。

全体会議終了後5つの分科会に分かれて身近な問題について意見交換。その後場所を梅田のレストラン梅の花に移り懇親会。久しぶりの顔合わせに話が弾み、来年静岡での再会を約束し閉会しました。

2023年の中部ブロック会議が11月12日、大阪クラブが主催して大阪市立総合生涯学習センターで行われました。大阪クラブが主催するのは7年振り、またコロナ禍により、ZOOM会議があったものの一堂に集まるのは前回の奈良クラブ担当以来4年振りとなりました。参加者は、FFIの金元勅子氏はじめ静岡クラブ5名、愛知クラブ5名、岐阜クラブ7名、三重クラブ4名、奈良クラブ6名そして大阪クラブから13名の計41名。



全体会議



「梅の花」での和やかな懇親会

### 編集後記

記事を編集させていただいて、コロナ前の生活に戻っているのだと感じています。

早い里雪で、あまり秋を感じないままでした。寒暖の差が多い今年の冬ですが、ご自愛ください。2024年も良い年でありますように。 O.H

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ  
発行日 2023年12月15日 第74号  
事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10  
金山忠夫 [kanayama573@gaia.eonet.ne.jp](mailto:kanayama573@gaia.eonet.ne.jp)  
ホームページ担当 飛岡文夫  
<http://ffosaka.pro.tok2.com/>  
編集人 佐藤、金山、山田、大月、西田